

第 73 回評価監視委員会の開催について

第 73 回一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要について、お知らせいたします。

開催日時	2024 年 10 月 29 日（火）14：00～16：00	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 （五十音順）	高橋省三（委員長（一般社団法人自動車公正取引協議会 参与 名古屋経済大学大学院法学研究科 講師 [元公正取引委員会 近畿中国四国事務所長]）） 鵜飼 誠（元会計検査院 第 1 局長） 佐藤 淳（東邦監査法人 代表社員、公認会計士） 宮本和明（東北大学名誉教授） 八尋和郎（株式会社 THINK ZERO 代表取締役）	
当会	建築調査部 高橋 俊一、岩井 卓矢、柴田 洋毅、飯島 慎介 共通資材調査部 大澤 勝、小林 法雅 沖縄支部 康広 誠己、石田 陽介、陶山 貴弘、安座間 安樹 調査統括部 柴尾 治、平野 光芳 監査審査室 黒澤 昭浩、勝井 治	
審議案件	案件	備考
	（定期調査） 構造用合板（針葉樹）[東京]	「建設物価」2024 年 8 月号 508 ページの掲載価格について、調査結果記録票、調査結果集計表等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
	（受託調査） 自在 R 連続基礎 [沖縄県内]	受託調査について、調査結果集計表、調査報告書等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
委員からの主な意見・質問 それに対する調査会からの回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘 （不適切な点又は改善すべき点）	なし	

意見・質問	説明・回答
1. 定期調査について 構造用合板（針葉樹）[東京] ○最頻値採用で価格を決定しているが、価格にバラツキが生じた場合はどのように価格を決定するのか。 ○ガソリン価格の高止まりが続いているのに、運搬費を含む掲載価格の下落は続いているのか。 ○針葉樹だけではなく、広葉樹を原木とする構造用合板もあるのか。 ○調査対象者を見直す場合はあるのか。 ○商流において、メーカー、商社及び問屋に系列関係はあるのか。 ○関東/東京地区の問屋は主にどの地区のメーカーから仕入れているのか。	○最頻値の特定ができない場合は、需給及び市況動向、メーカー情報などから総合的な判断に基づき決定している。 ○需給動向を反映した価格競争激化の影響が大きく、下落傾向にある。 ○広葉樹を原木とする構造用合板もあり、インドネシアやマレーシアからの輸入品が流通している。「ラワン構造用合板」と呼称されているが、価格面においては割高感があるため、構造用合板（針葉樹）と比較して流通量は少ない。 ○新たにシェアが高くなった会社を調査対象者に追加するなどして、見直す場合がある。 ○調査した商流において、系列関係はない。 ○東北地区のメーカーから仕入れていることが多い。

意見・質問	説明・回答
2. 受託調査について 自在 R 連続基礎 [沖縄県内] ○本調査品目は、恒久的に使用しないのか。 ○新品の価格調査と理解してよいか。 ○調査結果の蓄積データと比較して価格水準をチェックしているのか。 ○新技術で普及段階にある製品について、沖縄地区と九州地区における価格差は定まっているのか。 ○本調査品目が転用可能であれば、次に発注される工事では発注者から工事受注者への支給品となるのか。 ○供給メーカーが 1 社しかない場合に、回答する価格が販売業者によって異なることは一般的にあるのか。	○今回の工事においては仮設のガードレール支柱を建て込む際の基礎材として使用されるので恒久的な使用ではない。 ○新品の価格調査である。 ○調査結果の蓄積データと比較して価格水準をチェックしている。 ○各社の営業戦略などもあり、高低も含め、価格差が定まっているとは言い難い。 ○発注者と工事受注者との協議事項などによるものと認識しており、詳細については把握していない。 ○そのような場合もある。
3. 次回開催日について ○次回評価監視委員会は、2025 年 1 月 20 日に開催予定。	